



# 休校連詩

@学校休みだし、詩つくんない？

2020.3.4~2020.4.5



Produced by

ART EDUCATION SQUARE



## 「休校連詩 学校休みだし、詩つくんない？」について

2020年3月、新型コロナウイルスの拡大により、全国の学校が休みになり、そして多くの方が在宅ワークになりました。2019年春に「詩人でてこい！みんな天才詩人プロジェクト」を立ち上げたART EDUCATION SQUAREは、たくさんの方が「家にいること」を余儀なくされているこの時期にTwitterでの連詩作りのプロジェクトに挑戦することを決め、1ヶ月のあいだ行いました。そしてこれは作成された連詩のアーカイブです。（参加延べ人数 860名）

**【連詩】**とは、参加者それぞれが部分的に詩を作り、みんなで一つの作品を作り上げる詩の創作方法です。今回のプロジェクトでは、1日に2回、12時と20時にお題を出し、お題から自由に連想してもらい、リプ（返信）に30文字以内で短文（フレーズ）を投稿してもらいました。

例) お題「アイドル」への投稿のいくつか↓



そして投稿してもらったフレーズを担当4人が、持ち回りで連詩にしました。（連詩「アイドル」はこのアーカイブの3個目にあります。）

プロジェクトの半ばからは参加者からの「お題募集」、お題を画像、動画にした回もあります。連詩作成は苦勞することもあれば、約束したようにフレーズが繋がることもありました。複数に参加する連詩の魅力の一つは世界観のダイナミックな広がりにあります。そして正解もありません。中の人々が作った連詩以外に参加者が作成してくれた連詩もこのアーカイブの最後に掲載しています。同じフレーズが別の並び順になって別の物語を見せてくれています。そして合計すると1ヶ月で70以上の連詩が生まれました。そのことにどんな意味があるか今はまだわかりませんが、何か「力」を感じることが出来ます。この濃い「言葉たち」が詰まったアーカイブを投稿に参加した方も参加しなかった方も楽しんでもらえたら嬉しいです。



## お題「放課後」

連詩「放課後」 2020.3.4 12:00 参加17名

机、つみあがって  
窓を開け、雨上がりの匂いで教室を満たす  
カーテンが羊水にふくれる  
広がるおれんじが暖かくて  
夕焼けに浮かび上がる静けさはあまりに不思議で

アイツどうしてるかな？

顔の下半分が無い下校のアナウンスは半オクターブ高くて  
フェンスのこちら側 足音はいつも1つ  
気になるあの子と  
「おはよう」の場所で「バイバイ」

袖口にチョークの粉  
教室を出る、玄関を出る、校門を出て、駅に着いて。持ち帰れないもの。

あれからずっと放課後  
寄り道ばかり

日が暮れるまで誰もいなくなるまで  
ぼくたちに夜が満ちていき  
今朝立ち漕いだ坂を滑り降りる



## 連詩「バーチャル」

連詩「バーチャル」 2020.3.4 20:00 参加 12名

息が、詰まって仕方ないから、存在しか知らない異国を目指してる  
こんな場所だから、こんな時間でも会えるね

アルバムを閉じて、おもいだす  
火葬した涙の塩分濃度  
からだに触れるよりも 脳みそのどこかに刻みつきたいなら  
現実、と非現実、の境目がぼやける。

しょせんサイコロ振るようなもの。  
どうせコレがアレの幻でしたってオチだろ？ そうだろ？

リセット！リセット！  
だいじょうぶ。キミは居るから。さ・わ・れ・る・よ。

点景から立方体へほつれ  
仮想の世界に、リアルを忘れた



## 連詩「アイドル」

連詩「アイドル」 2020.3.5 12:00 参加 14 名

「コンタクト外してる 緊張するから

自分との戦い。だってだってだって にかいことあっても、いつも笑顔  
血と涙と汗の結晶美しく錬成し君の笑顔のため歌う」

人なのに人じゃないみたいなきらきら

その目にうつる光になりたくて、ペンライトを買った  
いつか来るさよならからは目を逸らして、今はただ手を伸ばす

あなたにあなたであることを押し付けてごめんなさい

君の言うほんとうの嘘が、きっと僕の嘘をほんとうにするから  
堂々と「好き」って言える人がいて、幸せです

「虚構、偶像、私ではないもの、それでも私であるものと  
しあわせのぜんぶは実在する」

まだ卒業するの？

会えるって、言ったじゃない

嘘でも笑って、本当の顔で。笑って笑って、消えてなくなれ



## 連詩「修学旅行」

連詩「修学旅行」 2020.3.5 20:00 参加 24 名

昨日 京 奈良 飛鳥 明後日  
ついて来ないで、しか、しか、しか  
初めて見る電車と、変な味の八ツ橋  
はじめて自分で選んで買ったおみやげは貝殻

好きだったあの子に告白。  
触れたきみの指先の透明度に、季節は今も追いつかない

最初があっちの班が良かった、なんて思ってたのに  
修学旅行オーラが出ていて 誰もがみんなみんなまぶしい  
みんなの中の私 私の中のみんな 旅の中の旅

眠くてたまらない、眠るもんか、眠れないよ  
泥濘にはまった足を置き去りにして、歩く夢のような世界  
あとで写真見たら笑ってたんだよ。そんな気分じゃなかったのに

バスガイドさんにひと目惚れ。  
がくねんしゅにんがあらわれた！  
君と片手間の LINE に夢中でぼろ負けなトランプ遊び  
お風呂上がり うとうと きみの話を聞く こんなに心地いいなんて  
楽しくなくても、そうでなくても、どうせ思い出って奴に変わるぜ

消灯時間を過ぎて あの内緒話は星座の瞬きになっていると信じた夜  
勇気を出して紡ぎ出したあの一言 君にようやく伝える僕からの返歌  
どうか、誰にも見つかりませんように。

集合写真、楕円の枠内にあいつは…いや、これは卒業式じゃない。

慣れない電車  
休みたい 休みたくない 新しいスニーカー汚してから家を出た  
誰が来なかったかなんて覚えていない



## 連詩「黒板」

連詩「黒板」 2020.3.6. 12:00 参加 15 名

右上がり、くたびれた文字がわたしの名前を呼ぶ  
相合傘 書いたの誰だよお～！（ありがとう）

書いては消して 書いては消して うっすら残る 思い出の残火  
言葉だったものが、音と煙とともに粉に戻っていく

知らない人の苗字も地層のように覚えて  
まるでキャンパスみたいに たくさんの花と猫を描いた  
落書きで笑って なんてあの頃あんなに全部が面白かったんだろ  
卒業記念アートを撮ってバズってる馬鹿。青春なんてそんなもんだろ

あとで写させてって 背中、つつく

描き出される文字列に ただ崩れ落ちて宙を舞う星屑のまにまに  
正義感を大上段に、光るほどに、消していた。

黒板？緑板だよね？って得意そうに言う小学生でした。ごめん。  
背伸びで消した相合い傘  
うっすら残るチョークの字  
水をこぼしたときの艶やかさ 手のひらの跡



## 連詩「主人公」

連詩「主人公」 2020.3.6 20:00 参加 17 名

その世界いち地味な主人公は誰にも気づかれず舗道でくるんと踊る  
あんたが決めるんじゃない、あたしが決めるんだ。  
パン！パーン！パパパン！パンパカパンパンパン！

国語で習った主人公って言葉、罪作りだよな  
ずっとなりたかったのになれなかった  
ただただ凡庸な、僕みたいな人間だって構わないはずなのに  
スクリーン上で 劇場で 本の中で街中で わたしは沢山 すれ違った

憧憬なんて人それぞれだけど  
ぼく、悲劇じゃなくて、それでも凡庸だけはいやだったから  
欠点のない主人公なんて……フフ、フフフ、フハハハハ、ワハハハハハッ！

一番前は、もう嫌だ。  
桃太郎で言うと、雉あたりが好きだ  
主水、ハムを食べる  
「謎はすべて解けた」と君は告げた。

ぼくは脇役と割り切れず  
締め切り間際に考えず書き込む辺りが主人公

77億の主人公がいるとして、僕はいくつの物語に触れるんだろう





## 連詩「エンドロール」

連詩「エンドロール」 2020.3.7 12:00 参加 12名

ただ、これを待っていた気がする。2時間ずっと。  
それまでは、そのときまでは。

暗闇にベルが鳴る

本当は皆仲良くできます

自分と同じ字がはいった名前、友達と似た名前、たぶん海外の名前  
死んでしまった皆さんも、ここではもう一度

まだ全部じゃないのにと心の中で呼びかける

終わらないもどかしさ

終わってしまった虚しさ

早く終わって欲しいけど、終わるには惜しい永遠の一瞬  
ずっと見つめたまんま、目が離せないね、滴る虹色の雫

あれ、佐野って2年前に居なくなったよな？

(監督も脚本も撮影も主演も僕だけど、  
みんながいなくちゃ完成しないよ)



## 連詩「理科室」

連詩「理科室」 2020.3.7 20:00 参加 23 名

解剖待ちの蛙

乳棒と聞くだけでテンションあがる男子

肺の潰れた鼠に平気そうな顔してメスを入れたあの子

強がって君にカエルの解剖をやりたいと言ったっけ……あれは嘘だ

死んだネズミの臭いが家に帰っても残ったまま

目を輝かせるあなた、ずっと理解できなかった

白衣のあなたはもうすぐいなくなるかもしれない

それぞれの試験管がルール通りの色に染まり

リトマス紙ではかるように、ぼくが何者かもわかればいいのに

ねえ、もしかして実験って人生のリハーサルだった？

鉛筆のあとが光る黒い机。そこに知らないあなたに伝言を書く。

残したいものをここで作ろうと決めて、放課後あの子と落ち合った

溶けたフラスコ、薄暗い部屋で 窓は雨に打たれて歪んでいる

ヨウム、カメ、小さなトカゲと真っ赤なピーカー。孔雀はいなくても

鼻腔をくすぐる薬品と鎮座する主人体模型

整然とした佇まいのガラス器具たちを眺めながら

むかし時をかける少女がいた場所。いまでも少し時間ずらせば会える

しまっておいた わたし の かたち

ねえ、じかに触らないで。

沸騰石みたいな心臓はずっと

私たち 燃えるでしょう そしたらね ほら 骨

酸化してしまうね、遅かれ早かれ

願いが気化しない間にまにまに今会いたい溶かし混じりあいたい



## 連詩「日曜日」

連詩「日曜日」 2020.03.08 12:00 参加 14 名

寝坊から始まって、やたらとにやにやしてしまう日は  
使者を待ってる ひとり  
よし、今日は頑張るぞ、と張り切った時に限って、やらかす。  
Twitter 眺めてたらもう夜に  
うとうと目が覚めるともうお昼  
早起きなんて夢のまた夢  
遊ぶ予定作ればよかったなあ  
日曜日の昼ごはんは  
どうしてだか麺類が多いんだな  
お布団 温かくて気持ちいい

用事がないのもまたいい。今日くらいゆっくりしたいよ。  
最高だ  
家に独りの この日がさ  
心のどこかが深呼吸  
休校続きだって、カレンダーが赤い日は来る

ふーん、私服はそんな感じなんだ  
お昼は やきそばにしようね



## 連詩「魔法」

連詩「魔法」 2020.3.8 20:00 参加 20 名

死んじゃえって勢いのまま、花束でぶん殴る後頭部  
壁一面のツタの葉、いっせいにひるがえった  
MP 切れたけど気合いで頑張る  
ついでに昨日割り込んできたレンタカーもイソギンチャクになっちゃえ！

魔女や魔法の本に手が伸びるのは なぜだろう  
確証なんていらなくて、信じることで生まれるもの  
そしたら、あたしも、飛べるかも。  
地球ぜんぶにビビディ・バビディ・ブー！ほーら戦争消えた

風よ巻き起これ！ ……あの子のスカートめがけて  
ステッキ一振りでもなんでも買えちゃおう 交換しちゃおう  
猫の瞳がグリーンに光って、わたしに反射する、ピカリ しゅわわ  
珍しいようで、実は身の回りに溢れている  
呼吸によく似ている

魔法の効き目が薄れてきたから、私はそろそろ寂しくなあれ  
もう二度と朝が来ませんように  
朽ち果てる前に、震えながらつぶやくその呪文  
杖を振る

あなたは眼のなかに、そのエガオを直接注ぎ込んでくるのね  
魔法じゃない でも きっと魔法だ  
そして私は魔法に掛かった



## 連詩「泣かない」

連詩「泣かない」 2020.3.9 12:00 参加 19 名

ただの唾液と思って呑んで  
ケムリが目に染みないように少し目蓋を閉じて  
泣かない 笑わない 可愛げのない少女だった

あの日 決めた  
「泣かない」の後ろには「少し泣きたいけどね」がかくれてる  
押し殺すのではなく建設的に考える  
指先のバンドエイドの匂い  
霧の海、私一人、影  
溺れそうだ

励まされたはずのそれはいつの間にか呪縛になっていた  
振り返らない影は髪を靡かせる 下唇が微かに震えている  
上を向いて歩いても 前を見なければ歩けない

なみだが出るのはカラダが生きたがっているしるし。けど  
次第に無気力が私を襲う 視界がぼやけて  
俺は泣かない、ロボットだから。 マシンだから。

咲かない  
そんなの無理

患者さんの前では泣かないと決めていたのに、嬉しくてあの日  
嬉しいけど泣かない、この優しい小さい光の海 流してしまいたくない



## 連詩「三月」

連詩「三月」 2020.3.9 20:00 参加 21 名

猫を抱いて歩くともれなく付いてくる、春の微笑みとぼかぼか陽気  
桜の咲く頃に、あなたは生まれた  
薫る春風、染まる頬  
3月生まれの君はいつも足を組んで座るから

弥生という呼びかたのやわらかな響き  
河原の瞬き 日差しは本気でつぼみを暖める  
マーチエイプリルメイ 軽やかに歩いて

沈丁花はおぼえている  
君が三月ウサギなら、僕は気狂い帽子屋になる  
桜がうるさく生まれ変わるわ あなたは死んで、土の中

月がひとつ終わるだけ 何も期待はしていないけれど  
最後の一日の意味なんて、訪れてみないと分からない

マーチったら チッタカタア  
枝伸びて 花咲く前の つぼみの硬さ  
いつも祝えない誕生日  
涙霞んで君が見えない

暖かくなってきたと思っても お水取りの頃 またぎゅっと寒くなる  
冬の駆け込み寺。  
春に凍りついて  
木の葉が音を立てずに宙を舞う 泣いている僕に君は微笑んで  
さよなら もう二度とあうこともないでしょう



## 連詩「傘」

連詩「傘」 2020.3.10 12:00 参加 19 名

「今日も雨か…」と軽い舌打ちをして白の強いグレーの空を一瞥する  
その先で 空を指す 今朝の2時ね 満月だったんだってさ

「貸して」「いいよ」と小声で  
傘を私達にかしてポッケに手いれて走ってったバイオリン弾きの人  
大昔から変わらぬ形、まるで愛だね

傘はささずに帰ろう？ …いや なんでもない  
軒先でそっと閉じて、はたはたと雫をはらうきみの横顔

嘘つき、今日は快晴って言ったじゃん  
傘なんて無いよ、フードでいいし  
手はずっと濡れていて、染み込んでしまいそうだった

傘をたたんで、ひとまず安堵。  
おりたたみ傘 かさたてに入れられず 持ち歩く店内  
ずっとかわりばえのしない 私たち

時々当たる大粒の雨がアクセント  
内側の雨は防げずに  
からかさのお化けのこぼす涙かな  
少しの霧雨の悲しみにも傘をさしとけば良かったのに

父が買ってくる赤い傘がきれいだった  
また別の人の所へ行ったのね。代わりなら幾らでもいるけど。



## 連詩「紙芝居」

連詩「紙芝居」 2020.3.10 20:00 参加 15 名

真っ黒な瞳がくりくり動いている  
小さい子を前に入れてあげて。  
飴を買わない子はあっち行って！  
舞台の扉が開いて…はじまりはじまり～！

物語の風景流れる木枠の窓  
綴じられていないページを順に繋ぐのは誰の意図？  
何度目かの、おなじ結末 これがいいんだ  
永遠の季節に閉じ込められて彼らはとっても幸せだろうね

木の枠を握るおじさんの軍手 指先が切ってあるんだね  
君って紙芝居の紙の方？それとも枠の方？

僕らの知らないところで、物語は進んでいて  
最後に貰える飴だけが楽しみでお話なんて何一つ覚えてなかった  
いつか昔にめくられた 頁に置いてけぼりにされ  
あたし、めくり間違えちゃったのかもしれない。

ねえ、つづきはないの？



---

お題「屋上」

連詩「屋上」 2020.3.11 12:00 参加 11 名

今は もう 出られない

何年も何年も、この屋上へ出る階段は封鎖されている。

そこで君と 2 人きりで話す想像だけが膨らんで

大の字になって雲の流れを見ているだけでしあわせだよ

あの日の夕日はやけに眩しくて、涙が流れた

自分を見下してきた奴らを見下している

ここで感じる風は何故か教室に吹き込むものよりも新鮮

一人は嫌だから、今から一人になりに行くのです

ここに来ると、時空を超えたきみに会える 一瞬手に触れられるから

気持ちいいね、世界が自分のものみたいだ

今日も小さな秘密が生まれる



## 連詩「時計」

連詩「時計」 2020.3.11 20:00 参加 21 名

長針と短針が重なる時を狙って  
拗ねたように逆向きに動く針は、きみによく似ている  
秒針がなめらかに動くと、1秒を嘯みしめられない気がして  
君と話した数時間が、僕にはたった数秒のように感じた

間違いを刻む角度の魔術で、僕らの愛を点検するような夜に。  
watch the NIGHTS watching the night, tonight  
いつまでも見ていられる

こないだまで壁時計があった辺りを見やる癖がいつのまにか消えて  
ひたすら流れる沈黙の中で針の音だけを僕は止めたかった  
キミは正しいよ… 正しければ良いってもんじゃ無いんだ

時計なんか放つとけい  
でした。です。でしょう。  
明日を針が連れてきた、どうせ何も変わらんが  
わたしは右手首の内がわ 気にしてるそこ見せたくないの

白ウサギが走ってる 急いで急いで 女王様がお待ちかね  
あなたの砂時計 それ、真空？  
はらどけいになる。ぐう。

針が止まった 止まっている 動かない 動いてよ  
秒針へ左に進めと願い請い  
早く短い針が5を指してくれないかな  
チクタク チクタク 動き出した チクタク チクタク 時計の針が



## 連詩「チャイム」

連詩「チャイム」 2020.3.12 12:00 参加 10 名

鬼教師、睡魔、空腹等との火蓋切り落とすゴング  
新聞か 宗教か  
解放！解放！

鳴るまえに、、ぷつって それでみんな黒板の上あたり注目  
チャイムが鳴り終わった余韻で下駄箱へダッシュで走る

時間を線引きするエクセルの枠みたい  
教室の窓から流れ込む冷気が頬を撫でて 私は永い夢から覚める  
放送室にかぎをかけて 微笑むくちびる

あれ、今日鳴らないんだっけ？  
もう聴こえない音 廊下を駆け出した僕は 真っ先に給食を運んだ



## 連詩「推し」

連詩「推し」 2020.03.12.20:00 参加 19 名

わたしだけを好きでいてねと君が言う  
届かないからこそ苦しみもない。君は恋愛の上澄。  
瞬間的寵愛  
対感情最終兵器  
歩く愛の反射鏡  
箱推しのふりをしながら心のペンライト焦がしてる

この胸の高鳴り…これは「推し」！これが「推し」！！  
「え、誰それ？」言われて嬉し悔しき尊き  
来し良しを推して歳を残しもしの如し  
推し みたい。 片側想い。  
美味しいの、それ？的な

「推し人数の少ない方に俺萌える」  
「推しはいいけど、自分はどうなんだい？」  
我を出すな！  
目と耳以外透明になれ  
すべからく見守れ  
側に居るのにととてもとても遠く思える存在  
推してから抜くか、抜いてから推すか、それが問題だ

ぼくの推しはきみ、きみの推しはぼく、一卵性双生児双子だもんね  
保存するのに 7TB と 777GB 欲しい携帯容量パンクさせて

信じらんないくらい信じてる (語彙)



## 連詩「風邪」

連詩「風邪」 2020.3.13 12:00 参加 15 名

風邪 フィルター越しの 君  
熱っぽいの？今日のきみの眼 なんかドキドキする  
うつしていいよ  
あなたのせいよ あなたのせいでこうなったのよ  
二郎系ラーメンが効くらしいけど  
君が僕の風邪薬

微熱を伴う眩暈 耳元に吐息 咳き込むように嘔く アナタが嫌い  
君の風邪菌がついた鼻水ティッシュに触れるほどには愛してない  
熱に浮かされた体を少し引きずって、太陽の高い時間に朝食を  
オレンジジュースの冷たさが、のどを通過する

潤む瞳をときめかせて  
火照る体が宙を舞って 切なく潤む私の瞳をあなたは知らない  
風邪をひいたら好きな物を食べて好きな猫を抱くと良くなります

あの日の風邪に引かれて  
風邪を引いたと仮病を使って一日中好きなこととして引きこもりたい



## 連詩「おやすみなさい」

連詩「おやすみなさい」 2020.3.13. 20:00 参加 16名

ぬいぐるみのくまの瞳が濃くなると、ベッドへと抱いて行く  
冴えた目を閉じて暗闇に身を任せる  
夜、あなたからの（おやすみなさい）がなければ。  
直接声で聴きたいなあ… なんてねごめん笑 なんでもないわ笑  
今夜はおねがい 夢に、来てね、ね

夢の中で会うために、華の揺りかごに抱かれて  
あなたに会いに行くわ 夢の中へ行くわ

目を瞑ってるだけでも体は休まるから、ね  
睫毛の先に星を飾る君の眠り もう少し見守る  
隣のピアノに手を引かれ遊泳 キミよ休めよ始まりの終わりまで  
子守唄が聴こえた気がした。

「おやすみなさい」から どれくらい 暗い 暗い 泣いて 泣いて  
明日に溶け入るようにまぶたが落ちて眠りにつきたい、これが私の夢。  
今日は終わり、明日のことはまた明日  
おはよ あれれ きこえない そっか このまま こうして ころころ ぬくぬく  
あとはまかせた、明日のわたし



## 連詩「ピアノ」

連詩「ピアノ」 2020.03.14 12:00 参加 15 名

白をなぞる指先  
黒に触れる指先  
君が弾くと合唱の課題曲もときめいて響くんだ

哀愁を帯びた旋律が  
風に靡いて校庭に届く頃  
はい、その男子、タンタヌキを弾かない  
踏まれちゃった猫は全部で何匹？  
本当はみんな、おなじピアノの音を聴いていた。

優しくふれる彼女には、返したいんだ優しい音を  
白いのにまたがってるみじかい黒いの  
可愛くてすきなんだ  
苦手だったピアノレッスン もし今弾けていたら英雄だったのかな  
あの子のように弾けたら、指先から溢れ出す熱情を伝えるのに  
鍵盤をなぞる溢れ出る音あなたは魔法使い

ただ一緒に話しているだけなのに、周りに響くは不協和音のみ  
とにかく誰でも音が出せるのがいい

建物の中いっばいに積み上げられたピアノ。  
そう、調律したらいい。



## 連詩「三日月」

連詩「三日月」 2020.03.14 20:00 参加11名

今夜はやせっぽち  
けど、帰るまでずっとついて来てくれるよね  
子供のころ、花王のマークが怖かった  
街を覗き込み、アナタの姿確認し夜闇に笑みを浮かべる  
球体の尖りは、優しい  
もう忘れてるかなあ、二人にとってだけ特別な月。  
今夜の月は綺麗だけれど、伝えたい君はもういない

どうか見上げてください  
夜空の三日月の椅子から兎の足がゆらゆらと揺れているのが見える  
今日の影がちょうど良くて私は駆け込んだ  
ねえもう明日を怖がらなくていいんでしょ？

三日月の端と端に座るあなたと私  
回転する三日月から振り落とされてから夜は夢を見るのが怖い





## 連詩「図書室」

連詩「図書室」 2020.3.15. 12:00 参加 13 名

辞典と辞典のあいだに水仙をみつけて  
遠くの席から 本を読む君を見てた  
この本、3ヶ月前にあの子が借りている

私、あなたを探してる 探してるのよ  
こ次の約束 B 棚N7-3 「斜陽」の裏表紙 貸出カードの余白をみてね  
お目当ての本は借りられていて、心の旅の続きは今度

本棚、高ければ高いほど 胸が高鳴る  
この本すごく好き だからきれいな葉っぱ、はさんどく  
図書館よりもローカルな 頁に落とす視線の共有  
パパママに言えない本を読んだ

僕たちは本を燃やして、立ち上る煙だけが道標だった  
暖かな夕陽と部活の音が  
そして僕はどうにもならない感情のままでひとり詩を書き続ける



## 連詩「各駅停車」

連詩「各駅停車」 2020.3.15 20:30 参加 11 名

ビードロ ふるえて のびてく モザイク  
急な階段も慣れたのに 今は見送り  
ちょっと能率悪いんだけどさ まわり道ではないんだ  
ゆっくり進むのが人生の醍醐味

乗り換え駅で待ち合わせ 急行降りてやってくる君と  
急行止まるのに各停で帰るの、君と一緒に居たいからよ  
普通、なんて言わないで。君と一緒にの空間にいれる、大切なこの時間  
西荻窪、阿佐ヶ谷、高円寺  
降りた君を目で追う 見えなくなっても ずっと

時を戻して 奴が乗る 途中下車したい 黄昏お化けにとり憑かれるから

きみの住む街へは、特急を降りて各駅停車でひとつ戻る  
どんなに小さな駅にも名前があるんだよ この星では。



## 連詩「はかりごと」



お題画像

連詩「はかりごと」 2020.3.16. 12:00 参加 11 名

計測マニアの恋人と

引っ越してきて真っ先にしたのは クローゼットを測ること

捻れてちゃんと測れないよ

君と離れるのは、これが限界

新生活に向けてメジャーを携えて

あなたとのルール 決めるのは私でありたい

僕のからだのどのくらいが故郷の光でできているのだろう

「2人の距離はこの位かな」先生と7つ違うけど俺追いつくから見てて

豆苗がのびたよ 豆苗がのびたよ

君がああのジェットコースターに乗れるようになるまであと少し

これからよろしくね



## 連詩「冷たい」

連詩「冷たい」 2020.3.16 20:00 参加9名

飛び込んだ冬は  $-20^{\circ}\text{C}$ の世界 痛いと感じる冷たさを初めて知った  
小窓から隙間風 便座に臀部の表皮 紙越しに指先 ブレーキ音 女の罵声  
冷たくなった握手の味  
それは見る間に結晶になった  
暖めてあげられたら どんなに良かったか

冷たいと寒いと切ないを揺れ動く足の指先  
悴んだ指と、それを溶かす指

冷たいのにやわらかいなんて きみはほんとうに、すてき  
うんと冷たい僕らの手を重ねるとじわじわ温かく確かな熱になった



## 連詩「文化祭」

連詩「文化祭」 2020.3.17 12:00 参加 15 名

準備が 1 番楽しい

祭のあとで燃やす だから丁寧にしっかり作れる

本番のために徹夜で準備した

ループで流れるヒットソング

普段ふざけがちなきみが真剣な顔でギターを弾くから、響いて困る

火の弾け響く音聞き、楽しそうな君を眺めて

血が躍る火が、夜空に消えていくまでは狂ったフリをしていたい

前夜 22 時美術室に集合 秘密のお茶会 知らない誰かと手をつなく

廊下に残る嬌声が、今も私の中にある

持ち回りの文化祭 高校が改築のためにやらなかったんだよな

受験で前倒し、コロナでどこへいく

準備とは名ばかりに、黙々とただ机を隅に積み上げ

準備しながら芽生えた恋は、後夜祭にてチリとなる。

焼きそばを焼く彼女の笑顔が忘れられない

満ダブルピース



## 連詩「フローリング」



お題画像

連詩「フローリング」 2020.03.17 20:00 参加16名

ああ引越し 旅立ちは明日なのに  
まだこんなにも片付いてないんだ  
全て取り出して全てを片付ける、僕の中身、人生、見てなよ  
この森の地図 おんなじ青格好 巨木エルドラド  
わざと横れて見せたって、本当は綺麗なのがばればれなんだ

おかんが出てったもんでさ  
おとん夕めしの支度無駄に長考  
師走の大掃除後に行われた引っ越し準備  
マスクらしき物は見つからず 取機はティッシュ4箱  
ここにいるものぜんぶでパーティーすんの  
アダブティブな生活

断捨離？ううん、備蓄が必要ですもの  
備えあるが憂いあり  
停電の生き残りを並べてみる。  
僕の寿命はあとどれほどなのだろう  
ほら見て見て、すごいオシャレなフローリングだから

さて、何をどうしてやろうかな  
カップ麺4個と目高昆布とかつおぶしと小麦粉で作る美味しいもの  
季節外れのヤツが逃げた



## 連詩「雨雲」

連詩「雨雲」 2020.3.18 12:00 参加8名

しょんぼりしているきみについていく雨雲、それはぼくだよ、見て  
桜散ったの俺のせい  
朝寒い俺のせい  
隣五月蠅いの俺のせい  
気持ちそのまんま

ひゅうっと風。雨の匂い。  
何もかも思い通りにいくことなんてそうそうないよ、と呟いた  
最悪でも濡れるだけ  
別れを惜しむ僕らの代弁者  
雲は自分が雨雲なのか、鱗雲なのか、入道雲なのか、知らないかも



## 連詩「花束」

連詩「花束」 2020.3.18. 20:00 参加 15 名

ゆっくりと見て回って、きみに静かで凛とした花束を作りたい  
サン・ジョルディにはまだ早い、まして薔薇を贈るなら尚更だ  
でも、束にされているのは、茎の部分

彼女のステージが終わるまで隠し持つ  
かすみ草が頬を撫でて くすぐったい  
想いを束ね、むせかえるような香りにやられる  
花道で後輩たちから花束を受け取り、自分たちは感謝をブーケトス

数えきれない思い出を束ね キミに供えた  
砂降り積もる 咲き誇る 清々しく 泥濘 曇る愛覆う 忌々しく  
色に、数に、花言葉

ビール券か何でいいと言ってた 君が寝てる間 枕元に置いておこう  
摘んで集めてつくってくれたの?…嬉しすぎるよこんなの

犬の尻尾が花束になったなら  
渡せなくなった花束 どこへ行く  
ありがとう。でも僕が欲しかったのは札束なんだ。





## 連詩「図書館のヒーロー」



お題画像

連詩「図書館のヒーロー」 2020.03.19 12:00 参加 16 名

大胆すぎる二人だけの暗号  
やっぱり噂は本当だったのか  
先生、一生のお願い。藤井を好きなわたしも特別に入館させて

返却ポストには、藤井以外の生徒が溢れている  
2年2組にそんなやついたっけな 私が知らないだけかな  
シンと冷えた廊下が整然と迎える 藤井の為だけに開かれた書架  
異界への扉（ゲート）が開かれた 藤井くんの出番だ  
藤井、呼び出しされたっけよ 飛んで藤井 藤井は諦めない

藤井、蔵書と一緒に納められるって聞いた？  
ついに始まったか。  
2-3（にいさん） 宮尾（ねいさん）は廃刊ってか？  
知的好奇心が 青空に跳ね返った なぜ？  
藤井よ お前は蔵書のあの秘密を掴んだのか

藤井人間やめるってよ  
藤井さんしかこの図書館を救える人はいないのよ  
帰れない 君の元へ 待っていている証拠写真の中だけで生きていける



## 連詩「水色」

連詩「水色」 2020.3.19 20:00 参加 13 名

水色の道を辿ると湖に出たから、驚いて顔を上げる

雨かな いや晴れてるな 頬を伝うのは何？

しあわせの薄青い小鳥 STICK TAP BLING ME

水色の飴、大阪のオバチャンがくれた

キメる時はブルーハワイのかき氷さ

純粹な外連味

地下アイドルを卒業した推しのカラーが水色だった

おみずはとうめいいろやん その尖った唇の愛おしいこと

早朝、空へ飛び立つ 上空から眺める水色の都市

水色は英語でスカイブルー、空と水の境目が言葉の国境線だ。

水色 水色 なんのいろ 紅茶の色

「水色」っていうのに透明じゃないんだね

あの青空にこころをとかした涙は透明なままだった



## 連詩「虎」

連詩「虎」 2020.3.20 12:00 参加 10 名

渡来人のごとき 気分で帰国

あーあーもうずるずるなってるやんか この酒今日は没収！

トリアルアンドエラー・タイガー！

夜の森に燃えたり、奇襲攻撃したり、狐に騙されたりで、忙しい

トラブル恐れず抜け出す空の下 トラトラトラ！ 我、脱出に成功！

今年は 1985 年以来の日本一に

今に始まったことではないが 虎の威を借る狐が増えてきたと思う

臆病な自尊心と尊大な羞恥心

衣を借りて ハリボテは秒でバレる OK 狩った後で しゃぶる暇さえ

その声、もしかして、きみ、1組の桃井君じゃない？



## 連詩「渡り鳥」

連詩「渡り鳥」 2020.3.20 20:00 参加 11 名

海に群れからはぐれた翼 星のダイヤは盗んだから 貿易風はチャラだ  
太陽に近づきすぎると焼き鳥になるんだ  
暖かいと思ったら、通りすぎていた

みんなおんなじ方向いて、何の字描いて飛んでくの  
ありがとう さよなら 繰り返し  
あの優雅な旅にも終わりが無いという

「祈ることぐらいです」ってそんなもの鳩にも迷惑だわ私ら猛禽類  
空からの声を聴きながら、渡り鳥だった頃の風景を思い出していた

渡り鳥 渡り廊下で 渡りに船  
なんて効率化された自由だろう  
幸せな王子を残して 私は旅立つの



## 連詩「覚えてる夢」

連詩「覚えてる夢」 2020.03.21 12:00 参加9名

起きたらすぐに夢のしっぽを捕まえるの 溶けちゃわないように  
あなたは夢なのよ 私が現実 いえいえそんなの知りません

犯人は貴方ですね？

昨日の旦那は今日の友人Aで 大袈裟すぎてミスキャスト  
この手に残る 君を絞めた温度

足元がぐらついて落ちかけるビルの壁、わたしは何に追われてるの

「I have a dream」っていう演説、夢で聞いたかも

無尽の中 無窮の中 キミを求める歪んだ思索

覚えている夢しか覚えていないから 覚えていない夢はない



## 連詩「ALL YOU NEED IS」



お題画像

連詩「ALL YOU NEED IS」 2020.3.21.20:00 参加 14 名

背表紙の森に迷い込む この奥の、もっと先へと手探りで進む  
このへんか、世界に通じる扉があるのは

仮想世界 好奇心に誘われて1冊手に取り、開く  
おねえたんはほんがすきね、わたしあかちゃんだからよめないけど  
くんくん たばこ くんくん ウイスキー くんくん まだかなあ

一生のうちで読める本の数は限れるから  
本を読んで損はない マンガも読んじゃえ そして思うことを書け  
知識の道に誘われて  
人生の教科書は この棚の中にあるかもしれない

けっこう大人っぽい漫画好きなんだ？  
胡乱な目の君を書斎の埃ごと愛していたよ  
シアターからシアターへ  
全ての扉を開く  
いつか、この本棚よりも大きくなる



## 連詩「海」

連詩「海」 2020.03.22 12:00 参加10名

雨があがって 潮の匂い もうすぐ夏だね

七つの海の嘘 セント・アンジェへ せめて花を咲かせて

息をしたい、もっと、深い場所で

ここがイノチのできたところ

海の水を全部飲んだ

近くて遠い広がる青命

帰らぬみちゆき 誰も知らぬ結末 南方補陀落渡海

海を見たことがない者でも海が持つ美しさはわかる

少年の瞳は地平線を眺めるたびに、日毎、海の色と同化してゆく



## 連詩「サイダー」

連詩「サイダー」 2020.3.22 20:00 参加 14 名

サイダーを飲みながら見るは清々しい空の向こう  
空を溶かし込んだような、甘ったるさ  
君に向けて話した言葉が、泡沫と一緒に脳内ではじけた  
サイダーなんかいらんよ いつだって泡食って生きているんだ

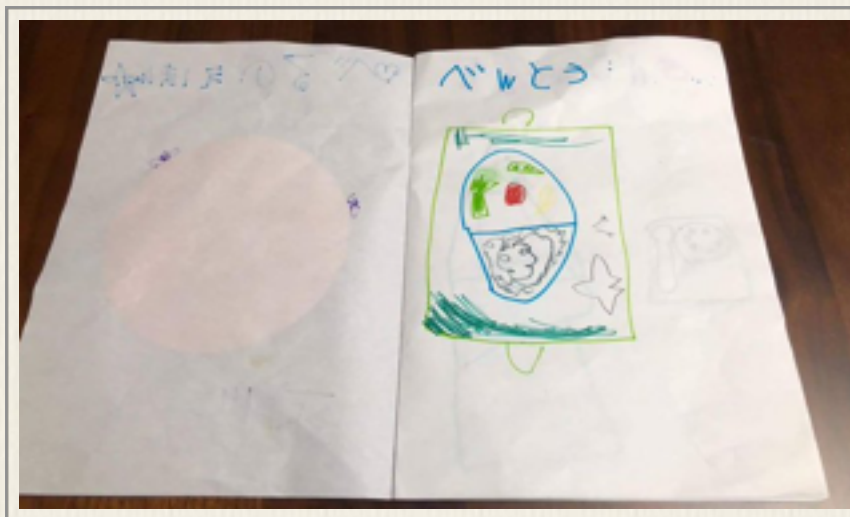
店の婆に 1本頂戴と百円手渡すと 法螺話を延々と聞かされるソーダ  
しゅわわー んく、んく、、、けぶっ涙目  
コップの中に海がある ざざーんずーんざざんずー  
炭酸の抜けた透明な夏がただ甘ったるい

弾ける透明な泡は恋の予感がした  
瓶の内側から僕を見つめる無数のインサイダー  
サイダーの泡ひとつひとつに小さな小さな虹が映ってる  
林檎転がる 甘く弾ける 恋が始まる  
こぼさないで開けられたら 今日はいいことがある日  
はじけるのことばが はじけるのこのからだか





## 連詩「世界弁当遺産」



お題画像

連詩「世界弁当遺産」 2020.3.23 12:00 参加9名

白い紙に欲しいモノを描けば 何でも手に入るよ  
魔法のクレヨン

うちのかあちゃんにはキャラ弁は難易度が高すぎて  
さくらんぼは2つ入れてね ゆうたくんにあげるんだ  
おいしそうだね。何回でも言ってあげよう。おいしそうだね。  
ままの弁当はいつもおいしいからだいすき

クレヨンの日記帳、手動の更新 描かれたお弁当、児童の行進  
お弁当持った？  
なら近くの公園へ冒険にいこう

弁当箱の蓋、どこへいったんだろう  
大切な遺産は意外な物だった



## 連詩「ライブハウス」

連詩「ライブハウス」 2020.3.23 20:00 参加 18 名

ジャカジャカジャカジャーーン！

手挙げろ 意味はない ダイブしろ 意味はない でも何か アルアルアル

えっ、かつてホールを満席にしていたあなたが こんなところに……

忘れたいことも 覚えておきたいことも いっぱいあるんだよ

初恋も憧憬も煙に巻かれて

あんたの八重歯が好きやわ 唄ってよ もっと煽ってよ

このハコから響く音は私の心臓に直結してるの 血が騒ぐ

音がバーン！耳がキーン！

ラムコーク 1つ頼む

壁にはたくさんのサインと落書き 小さな楽屋にビートがあふれてる

小さな世界がバンドたちの青春を象徴する

誰もがみんな仲間で一緒に魂が揺れた空間

今しかないから焼きつけないけど いつも覚えてるのはこの熱だけだ

見知ったつもりになってた街の知らない顔に、夢中になった明け方

イエーイエーイウォォー イエーイエーイウォー 叫びたいぜ！

赤坂ブリッツで夢だけみてたあの頃 シェリルクロウの瞳 忘れない

人間には二通りある、ライブハウスへ行く人と行かない人

ここは、生きていることをかんじられる家だよ



## 連詩「足りない」

連詩「足りない」 2020.03.24 12:00 参加 12 名

足りないものはお金だけ

チェキを撮り推しと話せる一分間 あれやこれやで話したりない

カタリ足りない、ハカリ足りない、インターネットの午後3時

バナナだけでは満ち足りない夕方のおやつ

しゃびしゃびのカレー センター不在の檜坂 手繋がないデート

ルーが足りないカレーみたいに 困らないけど足りない

たったの7時間ぽっちじゃ、夜が明けるには足りないね

舌ったらずだけど 聞いてほしいの

足りないものを補い合って、ここで一緒に暮らさないか

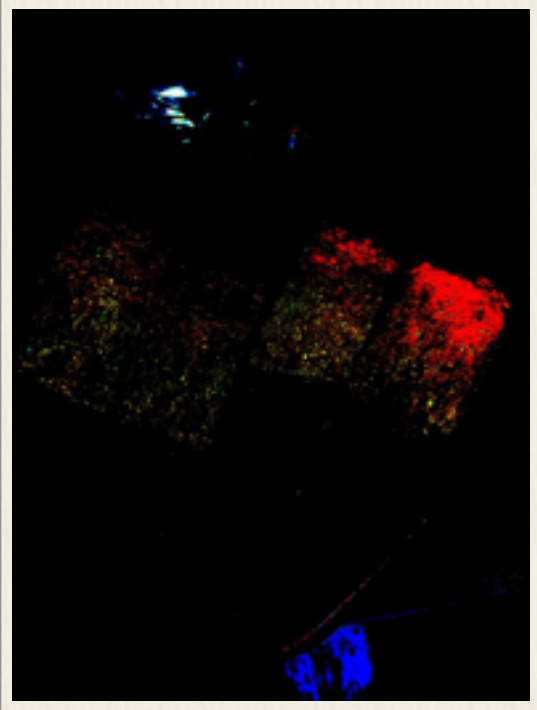
足りないものなんてないよと、ぼくは猫のそばでマスクを手作り

春が来たと知るにはもう一杯の雪解け水が必要だ

満足できない じゃない これは 足りない



## 連詩「あなたの分布」



お題画像

連詩「あなたの分布」 2020.03.24 20:00 参加14名

この海苔は食べられない  
凍てつく夜空に 湯気たつ歓声  
隅で始まるヤバげな取引  
NY巨匠前衛作品 3億相当の値打と  
贋鑑定士に攫まされたのがこれ

キスアンドバイトミー  
肩の骨 おへそ 膝の裏  
オーバーシュート  
体の中を顕微鏡で見ると美しい宝石のような夜空だった、尊い  
アカイ、イノチ。  
アオイ、ココロ。

目ェ瞑ったら見えるやつじゃん  
右がゲンジボタル軍、左がヘイケボタル軍だ  
赤外線衛星写真、熱い東京、神奈川、寒いグンマー  
私はあなたのことまだ少ししか知らない、という勢力図

もう、さよならしないといけないんだってさ メーテルまた会おう

鬼さんこちら手の鳴る方へ かごめかごめ籠の中の鳥は  
人々は一点に集まり群をなして生きていく



## 連詩「ラスボス」

連詩「ラスボス」2020.3.25 12:00 参加10名

お前に会いに来たんだ

微かな日差しの中 入道雲を見上げる 風向きが変わった 奴が来る！

ラスボスが最初から出てくるなんてルール違反だ

最後の相手は苦楽を共にした友だった

最悪、相討ちでも勝てればそれで

「おら、ワクワクすっぞ」を、最高値まで掻き立ててくれ

いつもいつも最後にやられるためだけに存在してる訳じゃない

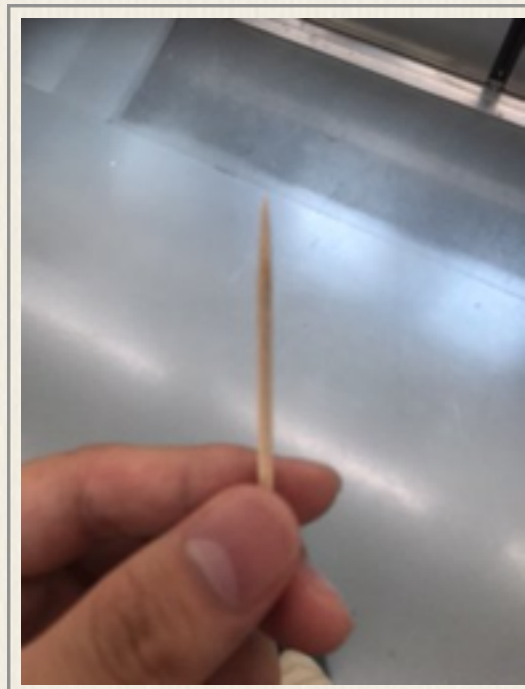
か弱そうに見えるだろうけど、一番熱くて強いのはあたし

映し鏡の中の自分。

ひれ伏さないようにしよう ぶつかっていこう



## 連詩「これはきっかけに過ぎない」



お題画像

### 連詩「これはきっかけに過ぎない」

2020.3.25 20:00 参加 10 名

彼もかつては、一本の木だった。

これを加工して短剣にして闘うストーリー

♪チャララ～チャラララ、ラララ～ ぶすっ！ばたっ！

リアルわらしべ長者 スタート！

ああ走った 最終列車

ああ笑った 爪楊枝が一本

ウッドな電波を楊枝で受信

一本の爪楊枝が人生を変えた

奥歯にもものが挟まったような言い方をするな、と言われた。

とても小さな勇気を試されてる

尖った生き方をしたいんだ！ ん？ こんな感じ？



## 連詩「パンダ」

連詩「パンダ」 2020.3.26 12:00 参加9名

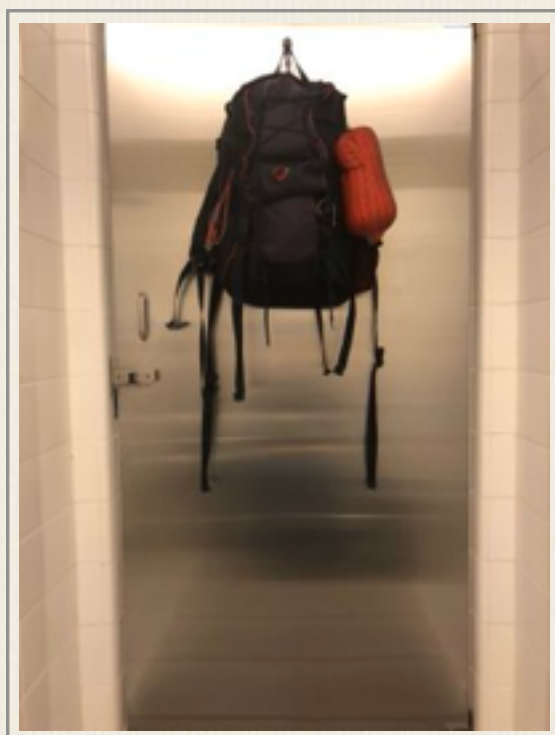
幼い日に、並んで待った記憶がある。見た記憶はない  
ピヨだなんて名付けるから 罰も当たる 目元のマスカラがそっくり  
パンダの可愛らしさを吸収して役立てたいのさ、世界平和のために  
ほんとうはタレ目ではなくて  
本当は専属のヘアメイクさんがいます

笹飽きた、肉食いてえ〜。

ごろごろしてるだけで愛される そんな存在になりたいと君は言った  
白と黒が混ざり合わず共存しているこの世界で  
白と黒が逆の配色でも みんなは僕を愛してくれる？



## 連詩「旅の始まり」



お題画像

連詩「旅の始まり」 2020.03.26 20:00 参加7名

朝、荷づくりと最後のミラーリング  
お花摘みます なんてことにならないように  
入山前に済ませておこう  
冒険の旅に出ることに決めた、古いが我家は広さだけはある、出発  
(こうしておくと、旅に出ているっぽいでしょ)

トイレに落書きの旅の途中だが  
こういうドアや壁は好きじゃない

帰ってきてくれたんやね  
重かったやろ  
何飲む？

旅をする覚悟した時旅は始まる





## 連詩「パスワード」

連詩「パスワード」 2020.3.27 12:00 参加 9 名

パスワードは Heart1188、はーと愛愛 YAH YAH ってこと

それは秘密の暗号二人だけの合言葉

パスワードは好きな人の名前、ちょうど毎月変わる

忘れたらいけないから手首に彫ったの

わかりやすく言うと 人生にもパスワードが欲しい。忘れなければ。

こっちに生まれてくる前に約束して決めてきたあれだね

ID をお忘れの方と誕生日をお忘れの方はこちら 名前をお忘れの方は

どんなにロックをかけても、直ぐに解除してしまう君

二度と思い出さなくていいよ



## 連詩「走り去る」



お題画像（動画）

連詩「走り去る」 2020.3.27 20:00 参加 12 名

あ、ここ知ってる

あー確かこれなんです ポストと間違えて郵便物をねじ込んだのは

4 は、一番好きな数字 だって幸せって読むじゃない

レッズの4番、鈴木大輔選手、なかなか倒れません

「野宿決定」ほら既読 a.k.a. Bombshell

アナウンスの声が空っぽのカラダを素通りする

未明彼の遺体が自室で発見された同時刻 乗車したのが私の不在証明

四番乗り場で交わす別れの言葉

君を乗せた最終バスをいつまでもいつまでも見ていた

さよなら さよなら あのバスに乗っているのは、あたしの青春でした。

明朝あのバスが着く頃には

さあ帰ろうか 今日の向こうへ



## 連詩「永遠の春休み」

連詩「永遠の春休み」 2020.3.28 12:00 参加 12 名

終わりのない休みなんて酷く酷く退屈なもの  
オマエは中二の春休みが終わってないだろ と言われた  
100年続くぽかぽか陽気 踊っちまうぜ

この春休みが最後の春休み。  
旅立つ君にちゃんとサヨナラが言えなかったあの日

春の前が冬だったのは憶えてる ねえ、夏はどこ？  
夏をセミの幼虫と一緒に埋めたのはあかし

悪の組織も休業、仮面ライダー失業の危機  
時が止まったかのように続く春の陽気  
退屈な日常を毎日描くと退屈ではなくなり、光が彩どりが生まれた  
しんどいときはなんにもしないのもいいもんだよ  
引き出しの中でずっと一緒に隠れていよう



## 連詩「ペットボトル」

連詩「ペットボトル」 2020.3.28 20:00 参加10名

炭酸水入りのペットボトルを抱えて  
その透明な肉体を  
捻って潰して捨てた

最近、猫避け用に水入れたペットボトル  
置いてる家を見かけない  
ボトルではあるけど、ペットではないよね

透明でO<sub>2</sub>も通さないふり  
とうとうリサイクルフリー  
振って飛び出す炭酸水、うん、あたらしい！

すぐあきそうなのに なかなか これが

空っぽのペットボトルでどこか叩くといい音がするよ  
わたしを消費し終わったら、  
丸裸にしてから潰してくださいね

公園でペットボトルの水を飲み干し、  
きみの体は一段と輝き出した



## 連詩「最後の恋」

連詩「最後の恋」 2020.3.29 12:00 参加 12 名

タバコとコーヒーとお酒と行列と映画の吹替は嫌い  
最後まで最後じゃなくてもキミが好き  
最初の恋の相手は2次元だった 最後の恋の相手は4次元だと思う

最後のコインで電話した、今日はLINEで電話した  
死ぬ瞬間まで、どの恋で最後になるかなんてわからない  
これが最後の恋 毎回思っているよ、卍

まあく並べると最初と最後がわからない  
いつだって始まりがあって終わりがあって そして続いていく  
恋すれど伝えられぬまま終わり 始まってすらいない事に気付く  
次の世で、最初の恋を最後の恋にする 笑う君の眼にナミダ光って

指輪を渡した瞬間これが最後の恋となる  
展望台のベンチは 今もそのままだろうか



## 連詩「雷雨のうちに」



お題画像（動画）

連詩「雷雨のうちに」 2020.03.29 20:00 参加7名

雷雨の夜に事件は起きた

ティーバッグの中の住人が光った

無事にサンドイッチが紫色になりました

机のメモ帳には そう書かれていた

明日は波乗りで パーティは延期 彼女にビキニで来いって電話しとく

重い靴 息は黒く ベルが震えて 屋根のある家

わたしは雨が嫌いなんだけど、雨は私を好きらしいよ



## 連詩「忘れ物」

連詩「忘れ物」 2020.3.30 12:00 参加10名

俺こそがクラス1の忘れ物大王だ！！  
なんか今日忘れ物を忘れ物してる気がする気がする！  
傘、メガネ、スマホ、バッグ、骨壺、人体解剖模型、運転手  
取りに戻れば遅刻は確定

花卉に住む、世界の回転の忘れ物  
傘を広げ 大空へ飛び立て  
メリーポピンズが夢を届けに  
今夜君のもとへ

忘れ物を取りに来て下さい、志村けんさん  
自分の中のほんとうが、  
また帰って来たいところに置く目印

世界が忘れてしまった二人のこと  
忘れたなら、忘れたことを、忘れたはずだって、忘れてた



## 連詩「積もる」

連詩「積もる」 2020.3.30 20:00 参加13名

初雪ならばさらさらと ギシ踏み グシャ溶け シワ深く  
降り積もる桜花びら、「猫は光の下の天使だ」なんて照れるにゃ

ツモった！四暗刻！！

門前清自摸和

時 場所 引力を 証明する 日本語の動詞

どこまでも積み重なってゆく無駄の一つ

なんでいま 部屋の掃除 始めたかな 本の山崩す 舞うホコリ

留守番電話を聞き流していた

積もるためには小さくなっておかなきゃね

恋心を詰め込んで書いた手紙は

恥という名の花卉が道程に埋もれ 雪に流転し 溶け消えること願う罪

何かが始まり、過ぎていった証拠

いつのまにか机を埋め尽くしていた





## 連詩「悼む」

連詩「悼む」 2020.3.31 12:00 参加 10 名

お茶目な笑顔が可愛い人は、ねえどこ？

なくなったんだっけ あの人の絵 あの音 あの字 時

かつて存在していた人の空白を愛おしむという行為

死の創作 哀愁 遠観 それは裏腹

偉大な彼のギャグが光って見えた月曜の昼

目を閉じればまぶたに浮かぶあの人の顔は白塗り

令和の子は志村を見れないんだね、と 14 才の娘が言った。そうだね

できれば本人を喜ばせるための花束を届けたかった

棺で瞳を閉じた祖母 ママに抱かれた 1 才の娘が バイバイとつぶやく

敢えて追悼の白ではなく、感謝で染めた彩り溢れる枕花を添えて



## 連詩「バラの花」

連詩「バラの花」 2020.3.31 20:00 参加 10 名

バラの花の香りに埋もれて眠っていたのにととう目覚めちゃった  
バラの花が咲く頃 君の面影浮かべ 頬つたう涙  
すれ違ったときの香り あの人は花の精だったのかな？

薔薇の花の刺を見つめる君と  
ならば語らば愛とやらラランド たらればラバラバオーヴァーナイト  
政府もバラバラ、国民もバラバラ、それでも咲きます薔薇の花  
どうせ赤く生まれるのなら、薔薇の花がいい

食い気だ食い気 丸い皿に乗ってる焼き肉用の豚バラのことだよ  
刺がないより魅力的 その刺激が欲しいのよ？

俺、薔薇。なんやねん実は今旬真っ盛りの桜と親戚やぞ。



## 連詩「エイプリルフール」

連詩「エイプリルフール」 2020.4.1 12:00 参加 14 名

今日僕と偽りの恋をしよう あんたのこと嫌いだもん えっ告られてる？  
そんなに力まなくてもいいよ  
ロックンロール以外は全部嘘  
ロックンロールとアイスクリーム以外も全部嘘

あのひとの虚言癖なんとかしてくれませんかね。  
頭の中のほんとをいえば、偽証罪にはならないんだってさ

素敵な大嘘が欲しい今日この頃  
やさしい嘘をついてみたくて 思いつく前に日が暮れて  
0401 真を祈って 偽の場合返す台詞 #VALUE! バカな私  
エイプリルフールは、明るい嘘が欲しかった  
コロナウイルスも嘘だったら良いのに

嘘なんてつくものじゃないと子どもの頃からずっと言われてきた  
あなたの言葉に生きる勇気をもらいました  
あの日の嘘を信じたおかげで今の僕がいる



## 連詩「錠剤」



お題画像

連詩「錠剤」 2020.04.01 20:00 参加7名

なるほどと膝を打った  
薬なのかなんなのか私は  
ブラウスに紫のブラが透けてる女に  
気づいたが 落とし物に気づかない  
薬を落とす程の衝撃が心に響き渡る

座るぼく、床の錠剤、静かな空気、鼓動が鳴る、満ちてゆく今日

まもなく十条に到着します、失礼、八錠でした  
誰のだろう 毎食後なら一日半とすこし 困らないかな

薬に見えるけどね、違うんだよ。これはね。



## 連詩「ポテトチップス」

連詩「ポテトチップス」 2020.4.2 12:00 参加11名

ポテチを食べる君を見て  
平らげる  
うれしいと、うしろめたいのパーティ  
掘られて剥かれて薄くされたる後に  
揚げてもらえました

じゃが芋からできているから、  
野菜だし大地の味だねと僕  
ブラインド  
数と数と数と字と字と字  
欲望は希望は妄想は本望

ときどき歯茎に刺さるヤツ  
たまに食べるとすぐなくなる不思議  
粉々に砕いてマヨネーズをかけてやる  
ひとふくるをひとりじめ  
ああ なんて あまい響き！

食べたその手で  
わたしの鼻をツンツンしないで



## 連詩「渡す」

連詩「渡す」 2020.04.02 20:00 参加10名

いくらでも、どうぞ  
渡されるの苦手なら黙って持って行ってちょうだい

次の世代へ渡すもの渡さないもの  
確かに渡した、と思うけど…  
次走者が待つ地点まで 最後の疾走  
幾人もの本気と汗 風に揺れた襦  
ワタス……ワタスがヘンなおじさんです！

あの子に渡した手紙は月日を経て真実を告げる

渡されたら渡してと産婦人科のベッドで妖精が羽ばたいて言う  
私の手を離れたリンゴ  
あなたの手で皮を剥かれ  
肉体になる  
はいどうぞ、と差し出された手を 贈り物ごと握りしめてしまいましたかっ  
たよ

そんなものは、いらない。



## 連詩「マスク」

連詩「マスク」 2020.4.3 12:00 参加8名

マスクからのぞく裂けている口が可愛すぎるチャームポイント  
愛してるからキスはマスクの上から

目は口ほどに物を言う、っていうけどさ  
素顔を隠すためマスクを被るあなたは  
口を閉ざし 家にこもっても 心にはいかなるものも装着致しません

タイガー！このマスクを使って！  
これですか？ 実験です 科学です 製品です 矢印はまっすぐデス  
壁ドン顎クイされたらマスクは自分で下げるわね



## 連詩「音楽」

連詩「音楽」 2020.04.03 20:00 参加 11 名

時の流れを具現化します

綺麗な重奏が鳴り響くホールで

ピアニストを撃つなんて常套句 そのうち忘れ去られるよな  
かたちなきことば

オンガクオコル、深く這入り込んであたしを聞いて

音を楽しむんだよ、なあキース！ ストイックすぎ、誰かさんは  
五線譜の上で踊ろう

エレクトリックギターがない世界には住めない

消えて LOOP 淀んだ POOL 浮いて LOOP 飛んだ POOL

きみの指パッチンに合わせて、わたしが肩を揺らして奏でる音楽  
ちっぽけな炎の集合体





## 連詩「親指」

連詩「親指」 2020.4.4 12:00 参加 9名

薄い板相手に親指の運動する人で溢れる電車内  
不器用なヤツのことを、全部親指って言うらしい

親指でガッツポーズをした君が  
姫、それは中指でございますっ！

左手の親指をなぞる  
親指と親指が、くすぐったそうに会話してる  
いいね いっぱい つけてね

つらいときにしゃぶる癖がいつまでも治らない  
せめて爪を切るときくらいは  
君にありがとうと言ってみる



## 連詩「水場」

連詩「水場」 2020.04.04 20:00 参加 10 名

水場って見たとき、濡れ場と勘違いした

人間が余所者のように息潜め 獣等喉を潤す日常

生き返りたい 未練もないけど 蛇口から赤い水 鉄のにおい

ウォーター・ミー ウォーター・ミー 今のせいっぱいを掬って 声のする方へ

はしゃぐきみ、パシャパシャ水をかけ合う、「あ、虹」

鳥とライオンと象といっしょに

ここですこし休んでいくといい あなたはこれから水脈を創る人

水場で切り刻まれる運命の野菜たち

渴きを癒す人になるつもりが、泥沼のような人になった

声が遠くて 近寄る一步



## 連詩「さくら」



お題画像

連詩「さくら」 2020.04.05 12:00 参加13名

この部屋はここでいちばん運がいい部屋  
がらんとしてるけど、空っぽじゃない  
洗濯物を干す際 目が合うとなぜか  
気まずそうに駆け出す園児がいる

君がいないだけで、部屋は随分寂しくなった  
でも、こんな感じなんだ 良かったな  
桜がきれいだな 風が吹かないかな  
いつもここで話を聞いてくれたね  
さらば愛しきこの部屋よ

桜桜、お別れや出会いをいつも見ているんだよ

おめでとう  
その言葉いっぱい貰った  
だからお裾分け おめでとう  
さくら色の風がふいた あたらしい春  
返事は書かずに風に乗せる  
ありがとう ありがとう ありがとう



## 連詩「明日」

連詩「明日」 2020.4.5 20:00 参加 18 名

誰かにとっての明日が、ここでは既に今日になっている  
明日が今日になる瞬間を体験したくて一生懸命起きてた子供の私

昨日が終わった実感すらないのに  
夜のうちに、はじまっている  
どれだけ追いかけても、明日にはたどり着けない  
明日から本気出す……と昨日言ったが、それはもう過去の話さ  
戸惑っている間にすでに朝で 一生辿り着けないとしても まいっか

たわしワシワシ、千羽鶴ずるっとむるっと、唐変木  
明日、うれしいことが次々に起こったらいいな  
お日さま出るといいねうれしいよね明日も  
コロナなんて悪夢、明日起きれば無くなってるかも  
小さな安らぎを共用して生きたいのさ、明日が来るのが幸せ

漫画返すね ありがとう  
服と荷物を準備してから眠るの  
今よりもひとつだけ よいものを思いえがいて 「またね」  
明日が素晴らしき日でありますように  
笑顔があふれる空になれ

おやすみなさい



@dobunezumiotokoさん

「アダブティブな生活」

季節外れのヤツが逃げた  
さて、何をどうしてやろうかな  
全て取り出して全てを片付ける、僕の中身、人生、見てなよ

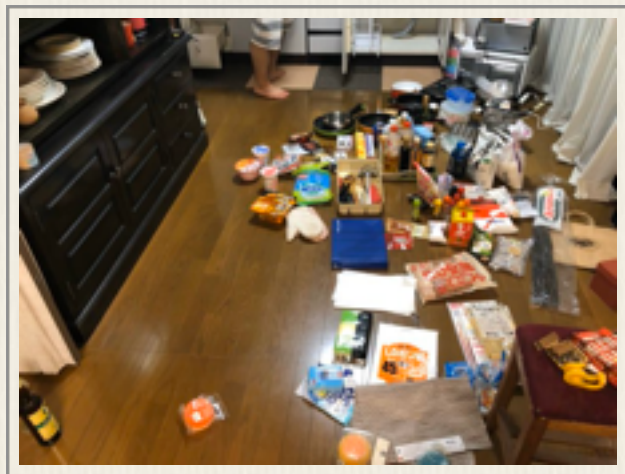
この森の地図 おんなじ背格好 巨木エルドラド  
わざと穢れて見せたって、本当は綺麗なのがばればれなんだ  
ほら見て見て、すごいオシャレなフローリングだから

おかんが出てったもんでさ  
おとん夕めしの支度無駄に長考  
カップ麺4個と日高昆布とかつおぶしと小麦粉で作る美味しいもの  
ここにいるものぜんぶでパーティーすんの

師走の大掃除後に行われた引っ越し準備  
ああ引越し 旅立ちは明日なのに  
まだこんなにも片付いてないんだ  
断捨離？ううん、備蓄が必要ですもの

マスクらしき物は見つからず 収穫はティッシュ4箱  
停電の生き残りを並べてみる。  
僕の寿命はあとどれほどなのだろう  
備えあるが憂いあり

さて、何をどうしてやろうかな  
全て取り出して全てを片付ける、僕の中身、人生、見てなよ



「藤井」

やっぱり噂は本当だったのか  
返却ポストには、藤井以外の生徒が溢れている  
知的好奇心が 青空に跳ね返った なぜ？  
ついに始まったか。

異界への扉《ゲート》が開かれた  
藤井くんの出番だ  
シンと冷えた廊下が整然と迎える 藤井の為だけに開かれた書架  
藤井、呼び出しされたっけよ  
飛んで藤井  
藤井は諦めない

藤井さんしかこの図書館を救える人はいないのよ

帰れない 君の元へ  
待っていている証拠写真の中だけで生きていける  
2-3 (にいさん) 宮尾 (ねいさん) は廃刊ってか？

先生、一生のお願い。藤井を好きなわたしも特別に入館させて  
大胆すぎる二人だけの暗号  
藤井、蔵書と一緒に納められるって聞いた？  
藤井人間やめるってよ

2年2組にそんなやついたっけな  
私が知らないだけかな



## 連詩@参加者



@dobunezumiotokoさん

### 「ラスボス」

ラスボスが最初から出てくるなんてルール違反だ

いつもいつも最後にやられるためだけに存在してる訳じゃない  
か弱そうに見えるだろうけど、一番熱くて強いのはあたし  
映し鏡の中の自分

ひれ伏さないようにしよう ぶつかっていこう  
最悪、相打ちでも勝てればそれで

「おら、ワクワクすっぞ」を、最高値まで掻き立ててくれ

微かな日差しのなか 入道雲を見上げる  
風向きが変わった 奴が来る！

お前に会いに来たんだ  
最後の相手は苦楽を共にした友だった

### 「パンダ」

ごろごろしてるだけで愛される  
そんな存在になりたいと君は言った  
パンダの可愛らしさを吸収して役立てたいのさ、世界平和のために  
幼い日に、並んで待った記憶がある。見た記憶はない。

白と黒が混ざり合わず共存しているこの世界で  
白と黒が逆の配色でも  
みんなは僕を愛してくれる？

ほんとうはタレ目ではなくて  
本当は専属のヘアメイクさんがいます  
ピヨだなんて名付けるから  
罰も当たる 目元のマスカラがそっくり

笹飽きた、肉食いてえ～

### 「ペットボトル」

最近、猫避け用に水入れたペットボトル置いてる家を見かけない  
ボトルではあるけど、ペットではないよね  
炭酸水入りのペットボトルを抱えて  
振って飛び出す炭酸水、うん、あたらしい！

すぐあきそうなのに なかなか これが  
公園でペットボトルの水を飲み干し、きみの体は一段と輝き出した

空っぽのペットボトルでどこか叩くといい音がするよ

透明でO2も通さないふり  
とうとうとりサイクルフリー  
わたしを消費し終わったら、丸裸にしてから潰してくださいね

その透明な肉体を 捻って潰して捨てた



@dobunezumiotokoさん

「錠剤」

薬を落とす程の衝撃が心に響き渡る  
座るぼく、床の錠剤、静かな空気、鼓動が鳴る、満ちてゆく今日  
誰のだろう 毎食後なら一日半とすこし 困らないかな

まもなく十条に到着します、失礼、八錠でした

ブラウスに紫のブラが透けてる女に  
気づいたが 落とし物に気づかない  
なるほどと膝を打った  
薬なのかなんなのか私は

薬に見えるけどね、違うんだよ。これはね。

「明日」

おやすみなさい

明日が今日になる瞬間を体験したくて一生懸命起きてた子供の私  
たわしワシワシ、千羽鶴ずるっとむるっと、唐変木  
どれだけ追いかけても、明日にはたどり着けない  
誰かにとっての明日が、ここでは既に今日になっている  
昨日が終わった実感すらないのに  
戸惑っている間にすでに朝で

一生辿り着けないとしても まいっか

服と荷物を準備してから眠るの  
明日から本気出す……と昨日言ったが、それはもう過去の話さ  
夜のうちに、はじまっている  
明日が素晴らしき日でありますように

漫画返すね ありがとう  
今よりもひとつだけ よいものを思い出がいて 「またね」

小さな安らぎを共用して生きたいのさ、明日が来るのが幸せ  
お日さま出るといいねうれしいよね明日も  
明日、うれしいことが次々に起こったらいいな

コロナなんて悪夢、明日起きれば無くなってるかも  
笑顔があふれる空になれ



@avcg00000さん

連詩「親指」

つらいときにしゃぶる癖がいつまでも治らない

左手の親指をなぞる

姫、それは中指でございますっ！

親指と親指が、くすぐったそうに会話してる  
不器用なヤツのことを、全部親指って言うらしい

薄い板相手に親指の運動する人で溢れる電車内

せめて爪を切るときくらいは

君にありがとうと言ってみる

いいね いっぱい つけてね

親指でガッツポーズをした君が





@sf\_poisonappleさん

連詩「アイドル」

「会えるって、言ったじゃない」

血と涙と汗の結晶美しく錬成し君の笑顔のため歌う

堂々と「好き」って言える人がいて、幸せです

人なのに人じゃないみたいなきらきら

その目にうつる光になりたくて、ペンライトを買った

君の言うほんとうの嘘が、きつと僕の嘘をほんとうにするから

アイドルになれない

コンタクト外してる 緊張するから

あなたにあなたであることを押し付けてごめんなさい

いつか来るさよならからは目を逸らして、今はただ手を伸ばす

まだ卒業するの？

嘘でも笑って、本当の顔で。笑って笑って、消えてなくなれ

虚構、偶像、私ではないもの、それでも私であるものと

しあわせのぜんぶは実在する

連詩「エンドロール」

暗闇にベルが鳴る

↑

終わらないもどかしさ 終わってしまった虚しさ

まだ全部じゃないのにと心の中で呼びかける

監督も脚本も撮影も主演も僕だけど、みんながいなくちゃ完成しないよ

本当は皆仲良くできます

あれ、佐野って2年前に居なくなったよな？

死んでしまった皆さんも、ここではもう一度

自分と同じ字がはいった名前、友達と似た名前、たぶん海外の名前

ただ、これ待っていた気がする。2時間ずっと。

ずっと見つめたまんま、目が離せないね、滴る虹色の雫

↑

早く終わって欲しいけど、終わるには惜しい永遠の一瞬

それまでは、そのときまでは。



@sweetsonicNsさん

掘られて剥かれて薄くされたる後に揚げてもらえました  
ひとふくろをひとりじめ ああ なんて あまい響き！  
うれしいと、うしろめたいのパーティ  
ポテチを食べる君を見て  
じゃが芋からできているから、野菜だし大地の味だねと僕  
食べたその手でわたしの鼻をツンツンしないで  
ときどき歯茎に刺さるヤツ  
平らげる  
たまに食べるとすぐなくなる不思議  
ブラインド  
数と数と数と字と字と字  
欲望は希望は妄想は本望  
粉々に砕いてマヨネーズをかけてやる



@pomipomi\_medamaさん

休校連詩「黒板」 2020.03.06

正義感を大上段に、光るほどに、消していた。

「卒業記念アートを撮ってバズってろ馬鹿。青春なんてそんなもんだろ」

「相合傘書いたの誰だよお〜！（ありがとう）」

右上がり、くたびれた文字がわたしの名前を呼ぶ

まるでキャンパスみたい

たくさんの花と猫を描いた

書いては消して 書いては消して

うっすら残る 思い出の残火

うっすら残るチョークの字

言葉だったものが、音と煙とともに粉に戻っていく

黒板？緑板だよね？って得意そうに言う小学生でした。ごめん。

背伸びで消した相合い傘

知らない人の苗字も地層のように覚えて

落書きで笑ってなんであの頃あんなに全部が面白かったんだろ

描き出される文字列に

ただ崩れ落ちて宙を舞う星屑のまにまに

水をこぼしたときの艶やかさ

手のひらの跡

あとで写させてって

背中、つつく